



第3回国連防災世界会議パブリックフォーラム シンポジウムプログラム

<シンポジウム> 防災・減災におけるイノベーション

日時:平成 27 年 3 月 14 日(土) 15:50~17:50

場所:東京エレクトロンホール宮城 601 大会議室

アクセス:<http://miyagi-hall.jp/access/>

<共催> 内閣府(科学技術・イノベーション担当)、独立行政法人 科学技術振興機構(JST)

<概要>

東日本大震災は、更なる技術革新が必要であることを示した。このシンポジウムでは、内閣府が取り組む ImPACT(革新的研究開発推進プログラム)と SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)に焦点を当て、防災・減災におけるイノベーションについて意見を交換する。

<プログラム案>

15:50-16:00 開会挨拶

久間 和生, 総合科学技術・イノベーション会議 議員

16:00-16:20 基調講演“途上国における減災への取り組み”

Sudhir Jain, インド工科大学ガンディーナガル校 学長

16:20-16:30 ImPACT“タフロボティクスチャレンジ”

田所 諭, JST プログラムマネージャー

16:30-16:40 SIP“レジリエントな防災・減災機能の強化”

中島 正愛, 内閣府 プログラムディレクター

16:40-17:00 SIP における個別技術の開発(各 5 分程度で紹介)

津波予測:青井 真

豪雨予測:高橋 暢宏

情報配信:熊谷 博

17:00-17:40 意見交換

(パネリスト) Sudhir Jain, インド工科大学 ガンディーナガル校 学長

田所 諭, JST プログラムマネージャー

青井 真, 防災科学技術研究所 地震・火山観測データセンター長

高橋 暢宏, 情報通信研究機構 センシング研究室長

熊谷 博, 情報通信研究機構 耐 ICT センター 副センター長

「災害対応に役立つ技術を開発するために等」の意見交換(会場からの質疑含む)(40 分)

17:45-17:50 閉会挨拶

原山 優子, 総合科学技術・イノベーション会議 議員

関連セッション

セッション1 現状, ギャップ, 将来に向けてのアクションプラン

2015 年 3 月 14 日(土)13:30～15:30

東京エレクトロンホール宮城 講演室 601

アクセス : <http://miyagi-hall.jp/access/>

<セッションの概要>

災害ロボットの現状、社会実装におけるギャップ、将来の減災のために必要なアクションプランについて議論を行う。

<プログラム案>

13:30-13:50 浅間一(東京大学)

日本の災害ロボティクス(仮題)

13:50-14:20 Robin Murphy, テキサス A&M 大学, 米国

災害ロボットの現状と実績(仮題)

14:20-14:40 Gerald Steinbauer, グラーツ工科大学, オーストリア

EU における災害ロボットの研究と適用(仮題)

14:40-15:00 Geert De Cubber, 王立ミリタリーアカデミー, ベルギー

災害マネジメントへのロボットの統合

15:00-15:20 Raj Madhavan, メリーランド大学, 米国

IEEE 人道技術特別委員会の活動(仮題)

15:20-15:30 Satoshi Tadokoro, IEEE Robotics and Automation Society 次期会長

ロボットを広く活用するために

15:30-15:50 休憩